

「バタフライエフェクト」

ボケ：なあ「バタフライエフェクト」って聞いた事ある？

ツミ：ああ、なんかざっくり言うと蝶の羽ばたきぐらいのことでもまわりまわって結果的に大きな変化が起きるとか、日本での「風が吹けば桶屋が儲かる」的なことやろ？

ボケ：それ達成したんやけど

ツミ：どういふことやねん、そういうのは狙って出来ることちゃうやろ

ボケ：でもそれで結果、世の中が良くなったから

ツミ：ホンマか？信じられんけどな

ボケ：まあ、聞けや まず世界を変えるために部屋を出て

ツミ：部屋の中おったら何も起きんからな

ボケ：あまりにも暑いからコンビニでアイス買って

ツミ：そんなんでも何か起こせるんか？

ボケ：で、食い終わったら棒だけ残るわな

ツミ：その説明いる？

ボケ：で、その棒をその辺の植え込みに突き刺して

ツミ：ゴミ箱に捨てろや！

ボケ：で、ここから世界が変わり始めたんや

ツミ：そんな事で？

ボケ：通りすがりの人々がその刺さった棒を見て「金魚のお墓」やと思うわけや

ツミ：庭に作るやろ自分の家の なんてそんなところに金魚の墓があると思うねん

ボケ：目の前の道路で轢かれたと思ったんやろな

ツミ：金魚は道路渡らん！

ボケ：夏祭りの金魚すくいの帰りだったのかも

ツミ：その場合、人ファーストで弔うやろ

ボケ：人を車からかばって犠牲になった金魚かもしれんやろ

ツミ：どういう状況や、小袋に入ってる分際で何が出来るねん

ボケ：じゃあ人も轢かれてたらアイスもう一本食わなアカンのか？

ツミ：人の墓はアイスの棒で作るな

ボケ：ハーゲンダッツでもか？

ツミ：高級アイスでもや、そもそもハーゲンダッツやったら棒ついてないやろ

ボケ：スプーンもらうに決まっとるやろ

ツミ：短いやろ

ボケ：もし店員がスプーンつけ忘れたらただではおかん 言ってやりますよ
「彼の死を弔う気持ちはないのか」って

ツミ：お前がな

ボケ：とにかく金魚の墓やと思って人々がお供え物をするわけや

ツミ：交通事故の現場ではそういうのあるけど

ボケ：花束やらジュースやら

ツミ：金魚はジュースいらんやろ

ボケ：確かに、水槽にオレンジジュース入れたら金魚が何匹おるかわからんようになる

ツミ：そういうことやないねん金魚死ぬやろ

ボケ：またアイス食わなあかんのか？

ツミ：墓の準備せんでええ

ボケ：「ガツンとみかん」置いてるかなあ？

ツミ：オレンジ味やけど とにかくジュースは要らんから

ボケ：そう、それでお供えは徐々にミネラルウォーターのペットボトルに
シフトしていく訳や

ツミ：まだ続いとったんか なんかもうどうでもええわ

ボケ：するとどうなるか

ツミ：何か起きるんか？

ボケ：猫が近寄らなくなる

ツミ：ペットボトルいっぱい並んでたら猫よけみたいになってるけど

ボケ：するとどうなるか

ツミ：続く？

ボケ：猫が減ったからネズミが増える

ツミ：そのくだり「風が吹けば桶屋が儲かる」に合流してないか？

今時ネズミが桶かじって穴あけたりせんやろ

ボケ：ネズミが増えるとどうなるか、警察の出番や

ツミ：それはないやろ、警察の業務に関係ないし

ボケ：速度違反の取り締まりを始める

ツミ：「ネズミとり」の意味が違うやろ

ボケ：するとどうなるか

ツミ：一応聞いたるわ

ボケ：警察が取り締まりやってるからその一帯では車がスピードを落とす

ツミ：まあまあ、そうなるか

ボケ：するとその辺りでは車の事故が減ると 結果、世の中が良くなりました

ツミ：何がバタフライエフェクト達成や！

そんな穴だらけの作戦でうまいこといくわけないやろ！

ボケ：穴が多いのは仕方ない、ネズミがかじったから

ツミ：最後だけ上手いこと言うな！もうええわ

「TM」

ボケ：ちょっと頼みたいことがあって

ツミ：いきなり何？

ボケ：前から欲しかったやつが1台オークションに出てて、買いたいから金貸してくれ

ツミ：1台って車？バイク？

ボケ：いわゆるタイムマシンや

ツミ：詐欺やろそれ

ボケ：なんで疑うんや

ツミ：ホンマにそんな便利なもんあったら他人に売るわけないやろ

ボケ：それは俺も最初そう思ったけど、今回泣く泣く売りに出した理由が書いてあって

ツミ：どんな理由があったら納得できんねん

ボケ：どうやらタイムマシン買って真っ先に自分の未来が心配で見に行ったら

ツミ：まあ、最初の使い道としてはありがちな

ボケ：そしたら未来の自分はなんと、タイムマシンの35年ローンを滞納してた

ツミ：何を確認しに行ってるねん

ボケ：だから新品同様の値下がりしないうちに売り払いたいと

ツミ：そんな説明で納得すんな、大体そいつは誰からタイムマシン手に入れたんや

ボケ：その前のオーナーも同じ理由で手放したらしいわ

ツミ：なんでそいつも同じ使い方してんねん

ボケ：でもまだ新品同様やし、走行距離105年やって

ツミ：タイムマシンは走行距離「年」になるんや で、105年？ 105、、、、
って、35年ローン3人連続で失敗しとるやないか！

ボケ：3オーナーものか、これはちょっと値引きしてもらわなあかな

ツミ：そんでなんでどいつもこいつも金ないねん、タイムマシンあったらなんぼでも
金もうけできるやろが

ボケ：残念ながらそれは無理やな

ツミ：なんで？未来に行って株でもギャンブルでも結果見てきたら100%勝てるやろ

ボケ：それは出来ん、だってタイムパトロールが見張ってるからな

ツミ：タイムパトロール、そなんおるんや

ボケ：タイムパトロールは未来の世界では憧れの職業のナンバーワンやから

ツミ：なんか響きカッコええしな

ボケ：だから未来では社会人の2人に1人がタイムパトロール

ツミ：誰でもなれたら憧れの職業ちゃうやろ

ボケ：誰でもなれるわけちゃうで、専門の学校があって入学試験もあるしな

ツミ：そのために勉強せなアカンのか

ボケ：赤本も他の大学の2倍の厚さがあるし

ツミ：赤本って受験対策用にその学校の過去5年分ぐらいの入試問題が載ってる

やつやろ？ 2倍の厚さってことはそれだけ入試科目が多いってこと？

ボケ：いや、入試問題が過去5年分と未来の5年分掲載されてる

ツミ：入試問題盗まれとるやないか、タイムマシンで、そういうのを

タイムパトロールが取り締まれや まあでも簡単に対策は取れるやろけどな

ボケ：どういうこと？

ツミ：問題が堂々と売られてるんやから次の年の入試問題変えたらしまいやろ

ボケ：それはできん

ツミ：なんで？バレてるんやから問題変えるしかないやろ

ボケ：問題を変えるということは未来を変えることになるから、タイムパトロールが歴史に介入することは許されない

ツミ：なんでそこ杓子定規やねん、柔軟に処理せえや

ボケ：でも大丈夫や、たとえ入学できて校則が厳しいから

ツミ：あ、そうなんや

ボケ：規律が厳しい、特に時間には

ツミ：まあタイムパトロールやからな

ボケ：たといかなる理由があろうとも、遅刻3回で罰金

ツミ：退学ちゃうんか

ボケ：「タイムイズマネー」って言うぐらいやからな

ツミ：何言うとんねん

ボケ：「時は金なり」

ツミ：訳してくれんでもええねん

ボケ：どうや、お前もタイムパトロール目指してみるか？

ツミ：なりたくないわ、もうええわ